

# ハラビロハジラミの学名について

中 川 宏

Hiroshi NAKAGAWA : A Note on *Goniodes lativentris*  
UCHIDA, 1916 (Mallophaga)

---

資源科学研究所彙報 第51号 別刷  
*Reprinted from* Miscellaneous Reports of  
the Research Institute for Natural Resources. No. 51.

---

Research Institute for Natural Resources  
4-400, Hyakunin-cho, Shinjuku-ku,  
Tokyo, Japan

昭和34年12月 (1959)

## ハラビロハジラミの学名について\*

中 川 宏

Hiroshi NAKAGAWA : A Note on *Goniodes lativentris*  
UCHIDA, 1916 (Mallophaga)

日本産ハジラミを整理中、UCHIDA (1916) が *Goniodes lativentris* として記載し、後に *Coloceras lativentre* (UCHIDA) とされた種類は *C. chinense* (KELLOGG & CHAPMANN) の後期ワカムシ late-stage nymph に基き記載されたものであることに気付いたので、下記の如く本種を *C. chinense* の異名としてここに簡単ながら報告する。

*Coloceras chinense* (KELLOGG & CHAPMAN), 1902Type Host : *Streptopelia chinensis chinensis* (Scopoli). カノコバト

*Goniodes minor* PIAGET, 1880, p. 256. PIAGET, 1880, *Pediculines* : 256, pl. 21, fig. 3, nec *G. minor* PIAGET, 1880, p. 241.

*Goniocotes chinensis* KELLOGG & CHAPMAN, 1902. KELLOGG & CHAPMAN, 1902, *J. N. Y. Ent. Soc.*, 10 : 160, pl. 13, fig 5.

*Goniodes piageti* JOHNSTON & HARRISON, 1912. JOHNSTON & HARRISON, 1912, *Proc. Roy. Soc. Queensland*, 24 : 19. *Nomen novum* for *Goniodes minor* PIAGET, 1880, p. 256.

*Goniodes lativentris* UCHIDA, 1916, *Annot. Zool. Jap.*, 9 : 81, figs. 1, 2. *Immature male and female of Goniocotes chinensis* KELLOGG & CHAPMAN.

*Goniodes minor* PIAGET, 1880. UCHIDA, 1916, *ibid.*, 9 : 85.

*Goniodes chinensis* KELLOGG & CHAPMAN, 1902. HARRISON, 1916, *Parasit.*, 9 : 80.

*Coloceras chinense* (KELLOGG & CHAPMAN), 1902. HOPKINS & CLAY, 1952,

Check list of Genera and Species of Mallophaga : 74.

*Coloceras lativentre* (UCHIDA), 1916. HOPKINS & CLAY, 1952, *I. c.* : 74.

*Coloceras minus* (PIAGET), 1880. HOPKINS & CLAY, 1952, *I. c.* : 75.

*Coloceras piageti* (JOHNSTON & HARRISON), 1912. HOPKINS & CLAY, 1952, *I. c.* : 75.

*Goniodes minor* PIAGET, 1880. EMERSON, 1958, *Ent. News.*, 69 : 6.

UCHIDA (1916) は 1908 年 9 月 4 日採集の台湾産カノコバトの 1 剥製より得たハジラミを 2 種とし、一方を *Goniodes minor* P. と同定、他方を新種 *Goniodes lativentris* として記載、命名した。*Goniodes minor* P. (p. 256) は *Goniodes minor* P. (p. 241) に先占されているため、後に JOHNSTON & HARRISON (1912) が *G. piageti* と命名したが、それに先立ち KELLOGG & CHAPMAN (1902) がハワイ群島に導入されたカノコバト寄生の雌により *Goniocotes chinensis* を記載しており、現在この種名が命名規約上有効である。

他方 *Goniodes lativentris* を記載から判断すると、本種は PIAGET (1880), KELLOGG & CHAPMAN (1902) の記載とは一見全く異なり別種のように思われるのである。本種は

\* 資源科学研究所業績 第953。(1959年11月15日受理)

HOPKINS & CLAY (1952) により先の *Goniocotes chinensis* と共に *Coloceras* 属に移転されたが、同著者らは両者の種名の問題にはふれず各々を独立種として配置した。これはおそらく記載上にみられる差に基づいたものである。一般にハジラミは同一の属の種類が、2種以上、同種の宿主に寄生することは極めて例外的事例というべきで、カノコバト *Streptopelia chinensis* に UCHIDA (1916) における *Goniodes minor* (= *C. chinense*) と *G. lativentris* (= *C. lativentre*) 2種の寄生をみることは筆者の関心をそそったのである。筆者はその後、

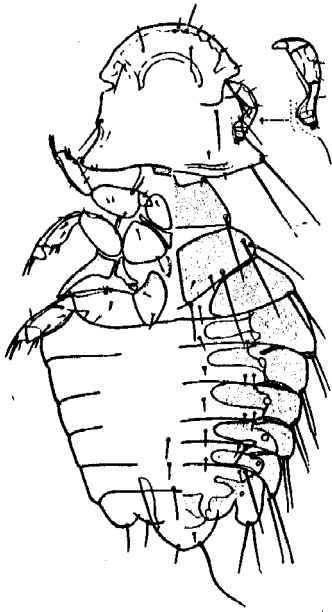


Fig. 1. Male-nymph of *Coloceras* sp. from *Stre. orientalis*.

著者の一人 Clay 博士より *C. lativentre* の交換依頼を受けた。宿主カノコバトは南方に分布するもので、戦後の日本領土に産せず、この依頼に応じえなかったのであるが、同博士は親切にも筆者の要望に応じ、大英博物館所蔵の標本を貸与し、本種の分類上の位置、種名などの問題点を調査する機会を与えられた。

UCHIDA (1916) の原記載は両性に関し精細に行われているが、これと比較した材料は上述の大英博物館所蔵のセイロン産の標本 *C. chinense* およびキシバト *Streptopelia orientalis* 寄生の *Coloceras* sp. で、いずれも雄雌成虫およびワカムシからなるものである。この比較から、*C. lativentre* は疑いなく *Coloceras* のワカムシが記載、命名されたものにほかならぬことを知った。即ち本種と *C. chinense* との差は期のちがいであって種による差でない事実気付いた。

*Streptopelia* 寄生の *Coloceras* においては後期ワカムシにすでに両性に第二次性徴による差が発現し、その差は触角、末端節、雄生殖器、雌生殖腹板等に示されるのである (Fig 1. 参照)。従って *C. lativentre* の原記載はかかる後期ワカムシにみられる性差に基づいて、それを本来の成虫より切りはなして記載されたものであろうと推定するのが妥当である。なお本種の和名ハラビロハジラミは日本昆虫図鑑 (1950) に従っている。